

2019

5

May Vol.38

JALまねびより

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「隠岐の島町 繁殖牛」 隠岐地区本部



「馬入水神事」
玉若酢命神社 (隠岐の島町)

Naomichi

島根には誇れる農産品がたくさん!

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

隠岐の島町 繁殖牛

5月は、隠岐地区本部。隠岐の島町で、繁殖農家として肉用向けの子牛生産に取り組む、都万地区の野津賢三郎さん、田中修司さん親子のほか、町内における畜産の現状を隠岐地区本部の広兼経済部長に伺ってきました。



強健な親牛から生まれる子牛が高い評価を受けている。

隠岐地域では和牛の生産を重点的に支援しており、県全体の頭数が減っている中、町内では増頭。数年前までは米の出荷額が1番だったが、現在では和牛の販売額が倍になるほど盛んになっている。平成23年頃からは地元の建設会社が畜産事業に参入し繁殖牛が増加。全国各地から隠岐の元気な子牛を求めて買い手が集まり、町内全体で年間350頭前後の子牛を出荷している。5、6年前からは遠く茨城県などからも市場に訪れる企業があり、高値で取引。若い就農者をはじめ町内を挙げて増頭を図っている。本日も紹介する就農者は町内の畜産業を長きにわたって担うことが期待される30代です。

遺志を受け継ぎ、親子2人3脚で

とても明るく気さくな田中さんと母の美砂子さん。祖父が数頭の繁殖牛を飼育しており、他界した兄と繁殖農家として経営を拡大することが夢でした。その遺志を引き継ぎ、田中さんと母の2人で繁殖牛を徐々に増やしています。現在は32頭の繁殖牛がおり、子牛を年に20頭余り出荷しています。



様々な想いを胸に、親子二人三脚で。素敵な田中さん親子。



田中さんの牛舎と運動場。右が生産拡大を見据え、JAの支援を受け新設された牛舎。

お産の立会いは夜中にも

何回かお産を経験した牛でもお産には細心の注意が必要です。お産専用の牛舎にはカメラを取り付け、逆子になっていないか、大きくなりすぎて難産にならないかなど入念に牛の状態をチェック。夜中だろうが早朝だろうが牛舎に駆け付けてお産に立会い、授乳がうまくいったのを確認してからようやく牛舎を離れます。人と一緒に親の乳を飲ませると免疫力が強くなるので牛の性格を見極めながらたくさん乳を飲ませるよう心掛けています。また牧草を育てていますが、雨に当てずに全量収穫しなければならぬほか、昨年は天気の関係で2番草が取れず、止むを得ず牧草を購入。頭数も増えたことにより、餌のコストも増加し、冬場の粗飼料不足をどう解消するのが現在の課題となっています。



お二人の愛情とたゆまぬ努力が元気な子牛を育てているのだと確信しました。

小さくても足腰の強い元気な牛。ありがとうの気持ちまで

放牧で育つ強健な親牛から生まれる子牛は、風邪や下痢などの病気に強く、将来的に肉用牛として立派に育つと評判の隠岐の子牛。母の美砂子さんは牛を出荷する時にお神酒をかけて「ありがとう」の感謝の気持ちを忘れません。修司さんは感謝の気持ちとともに、兄と夢を描いた法人化を見据え50〜60頭を飼育する計画を進めています。

レンズを向けると寄ってきてくれる、元気で人懐っこい母牛たちも、とても印象的でした。



脈々と受け継がれる畜産への想いと、隠岐の畜産の未来を感じることができる取材となりました。

「牛突き」との二頭流

以前は建設会社に勤務していたという野津さん。公共事業の削減で仕事が減少していくのを目の当たりに。何かしなければと思い、長らく伝統文化の「隠岐牛突き」に携わっていたことから、8年前から繁殖牛を飼育。現在は地元の観光協会スタッフとして闘牛を飼育し、月に10番程度の牛突きの取り組みをするかたわら、放牧と牛舎を利用して子牛を生産しています。



優しさ溢れるお人柄に、「二頭流」の先にある成功が見えた気がしました。

365日の飼育に課題

一人で繁殖牛9頭を飼育している野津さん。冬場以外は種付けされ受胎確認ができた繁殖牛を公共牧野に放ち、生産された子牛や授乳中の親牛等は牛舎で飼育。子牛は半年から8カ月位になったら年3回ある家畜市場に出荷しています。

毎日、繁殖牛や子牛への餌やりのほか、体調に変化が無いかなど、元気な子牛を生産・飼育するため、しっかりと牛舎を離れることができません。離島ゆえに、研修などで出張する際には宿泊する必要も。止むを得ず留守にしなければならぬ時は知人に管理を頼んだりしますが、気兼ねなく出かけることができるよう、ヘルパー制度などがある

毎日、繁殖牛や子牛への餌やりのほか、体調に変化が無いかなど、元気な子牛を生産・飼育するため、しっかりと牛舎を離れることができません。離島ゆえに、研修などで出張する際には宿泊する必要も。止むを得ず留守にしなければならぬ時は知人に管理を頼んだりしますが、気兼ねなく出かけることができるよう、ヘルパー制度などがある



手探りながら、様々なことを前向きに考え、繁殖に携わる姿が真っ直ぐで、とても素敵でした。

れば、と関係機関に要望しています。今後は現在の9頭から15頭まで増やしていく計画で、牛舎をJAの農業振興支援事業など受けて新たに1棟を建設。約800年前、後鳥羽上皇をお慰めするために始まったとされる「隠岐牛突き」の継承を続けながら元気な子牛を生産しています。

広兼部長によると、冬場の粗飼料不足や自給飼料の確保のため、休耕田など活用し稲発酵粗飼料(WCS)用の稲を町内で約40haほど栽培。そのうちの半分はJAで刈り取り、支援を続けています。また担い手確保のため、就農しやすい環境作りにも着手。今後はヘルパー制度などの仕組みづくりなど前向きに検討しているところだ。こうした環境整備と新規就

農者の確保の両輪を回し、隠岐の畜産振興につなげていきたいと熱くお話をいただきました。



JAの支援を受けて新設された牛舎。飼育環境を考え、様々な工夫が施されていました。

繁殖牛

一口メモ

隠岐地域で最重要品目である和牛の出荷。島前・島後の4町村で盛んに生産を進めており、隠岐の島町は出荷額で知夫村を抜き、西ノ島町に次いで2番目の出荷額まで拡大している。各4町村で開いている家畜市場には茨城県から長野県、福岡県等から企業数十社・個人など全国各地から子牛を買いに訪れ、活況している。放牧を取り入れ、生まれた子牛は飼料を食べさせてから授乳するなど、腹づくりを徹底。1頭当たりは決して大きいほうではないが、牛の将来性を見込んで、キロ単価に換算すると高価格で取引されている。



雲南地区本部 青空市ぶなの里



産直へようこそ!!

可成り産地が地域の特産品「JALまね 島根県内の産直店舗」を紹介しています。



飯南町を走る国道54号線沿いの「道の駅頓原」に隣接する「青空市ぶなの里」。その歴史は、地元農家の女性グループが中心となってテナントで農産物の販売を開始したことに始まり、今年の3月には開設25周年を迎えた。

店内にはとれたての農産物などが並び、取材で訪れた日も地元の生産者さんが朝収穫したばかりの肉厚な原木シイタケを並べていた。生産者と直接会話して、おすすめのお味方を教えてもらえるのも産直の魅力だ。

同直売所には出荷会員の顔写真が並べられているが、出荷会員数は増加している。本田啓子店長は話す。ぶなの里の戸田雅之会長が、周辺の生産者やイーターの新規就農者へ声を掛け出荷を促したことで、以前は70人程度だった会員も今では102人が登録するまでになった。その結

ぶなの里といえば野菜苗！5月は軒先にも苗が並び(写真は昨年)



店内には出荷会員の皆さんの顔写真がズラリ

果ぶなの里は、一般的には出荷量が減少しがちになる冬場をはじめ、1年を通して新鮮な農産物が安定して売り場に並び直売所となった。「今でも定期的新しい写真を追加するんですよ」と本田店長は笑う。

おなじみの苗物が売り場に並び、標高が高く昼夜の寒暖差が激しい当地で育つ野菜苗は、丈夫で多収量だと評判だ。苗物は同産直で一番の売り上げを誇り、松江や出雲などはもちろん広島からも多くの人が上質の苗を求めて訪れる。

そのほかには、地元で採れた食材で作られる豆腐、漬物、味噌、お餅などここでしか買えない逸品もたくさん。手作りの手芸品コーナーも充実していて、「ここのお店は楽しいね」と来店者に好評だ。また季節ごとに、山菜の天ぷらやぜんざいなどを販売するイベントも開催される。

頓原といえば漬物と味噌。手芸品も一点ものが並び。



「目指すのは顔が見える直売所！」と話す本田店長



所在地：島根県飯石郡飯南町花栗48 道の駅とんぼら隣
 営業時間：5～10月 8:00～17:30
 11～12月 8:00～17:00
 1～2月 9:00～16:00
 3～4月 8:00～17:00
 定休日：年末年始
 TEL：0854-72-1530



JA 自己改革 実践中

JAグループ島根

JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

山下勇人さんは3年前に大阪市から安来市に1ターンし、平成30年9月に安来市の特産であるイチゴの栽培を開始しました。現在、経営面積は7アールで、土耕栽培により「紅ほっぺ」を生産しています。

パイプハウスや高設ベンチなどの施設は、国・県の補助事業とJAしまね農業振興支援事業、やすぎ地区本部が整備した新規就農者育成支援リースハウスを活用しています。

今シーズンが初めての出荷ですが、「生産量、質ともに上々」と順調な出足に笑顔がこぼれます。

山下さんは、「JAに支援してもらい、初期投資が軽減できてたいへん助かっています。今後、計画的に経営面積を拡大し、安来市の特産品であるイチゴ生産の担い手としてがんばっていこうと思います」と話してくださいました。

安来市 山下 勇人さん



JA YOUTH

一所懸命 青年連盟



ボン菓子体験を行う児童、盟友

JAしまね石見銀山青年連盟

JAしまね石見銀山青年連盟は、大田市管内の青年農業者等35名で構成されています。

農業を守り発展させる活動として、毎年11月に開催されるJAふれあい祭でのボン菓子加工・販売は好評で、市内の保育園でのボン菓子加工実演も行っています。その他、食農教育活動として、JA女性部と連携した食農料理体験事業「家族と一緒におおだ産 にとって！つくって！たべよう！」も平成28年より、継続実施しています。

また、農業を次世代へ引き継ぐべく、島根県農林大学校の学生との交流も昨年度より実施しており、大田市への就農の相談や農青連への加入を促進していく活動も行いました。

今後もポリシーブックを活用し、青年連盟の活動をさらにPRして盟友を拡大していきます。

※ポリシーブックとはJA青年組織の活動指針でもあり、政策提言集でもある、青年組織の活動の核となるものです。



石見銀山青年連盟のFacebookも是非ご覧下さい！



雲南

春休みにみんなで料理 災害時に役立つ調理法学ぶ

ＪＡしまね雲南女性部大東支部のメンバーが組織する「うしお料理クラブ」は4月2日、雲南市大東町の海潮交流センターで、地元の児童を対象とした春休みクッキングを開催し約30人が参加しました。

メニューは家の光協会が発行している「家の光」に掲載された料理の他に、耐熱包装食袋を使ったカレーやピラフ、プリンなどを作りました。耐熱包装食袋を使った調理法は、袋の中で味付けできたり、1つの鍋で複数回調理できたりするため水が貴重となる災害時にも役立ちます。

同クラブの富山邑子代表は「子ども達が防災への意識を高めるきっかけになればうれしい」と狙いを話し、参加した児童は「袋で料理できるなんてびっくりした。プリンが好きだから家でも作ってみたい」と笑顔で話した。



クラブのスタッフから指導を受けながらプリンを作る児童

くにびき

八束学園でマグカップ寄贈 ～学園生活の思い出に～

八束支店運営委員会（池田至郎委員長）は3月20日、松江市八束町の市立義務教育学校八束学園を訪れ、6年生42名に「オリジナルマグカップ」を寄贈しました。

同委員会は、地域貢献の一環として2013年度から、同学園の6年生を対象にオリジナルマグカップの製作と寄贈を行っています。

この日寄贈したマグカップは、2月27日に児童自身が描いた絵や持ち寄ったシールなどを貼っていき、焼付けを完了させたもの。

当日は、同委員会の事務局を務める池田久夫支店長が「マグカップをいつまでも大事に使ってください。これからも一緒に、よりよい地域をつくっていきましょう」と挨拶。その後、先生が個性溢れるマグカップを児童一人ひとりに手渡しました。

早速、箱からマグカップを取り出した児童たちは、出来栄に笑顔を見せながら「思い出がひとつ増えてよかった」「優しく丁寧に教えていただいたおかげで、上手にできた」と話しました。



隠岐

芝桜が満開

隠岐の島町飯田地区において、地域住民のボランティア活動により定植された芝桜が4月中旬には満開となり見頃となった。（活動詳細はしまねびより10月号のトピックスにて紹介）今では、地域の方の目を楽しませているだけでなく、他の地域からも花を見に来る人も多い。地域活動に参加した1人は、「苦労して作業したことが実を結び、鮮やかなピンク色の花に彩られた群生を見てやって良かったと思う。地域の方々と酒を酌み交わしながら花見をすることが楽しみ」と語った。

この活動支援として、ＪＡしまねの地域貢献・地域活性化支援事業を利用し助成をさせて頂いていますが、引き続き地域貢献のため、地域の活動を応援していきたい。



やすぎ

家の光介護予防講座スタート！

やすぎ地区本部は赤江支店で4月12日、2019年度家の光介護予防講座を開催しました。同講座はＪＡ島根厚生連の職員による健康体操教室や雑誌『家の光』を活用した講座を毎月1回開催しており、昨年度から引き続き参加される方に加え、今回新たに参加される方も含め計34名の応募がありました。

第1回目となる今回は24名が参加し、まずは自分の身体について数値で知ってもらうため、身長体重や骨密度、歩くスピードなどを測定しました。また講義では、それぞれの数値の説明や「立つ」「歩く」といった移動機能が低下した状態のロコモティブシンドロームについてなど、運動することの大切さを学びました。最後に椅子に座りながらできるエクササイズを行い、参加者は「皆さんと一緒に運動するのは楽しいです」と話されました。



斐川

チューリップ20万本 咲き誇る！

4月13日、14日の両日、出雲市斐川町今在家で「花のまち出雲」を象徴するチューリップ祭りが開かれました。今年は60アールの圃場に20種類のチューリップ約20万本が咲き誇り、満開の見頃を迎えたチューリップを目当てに、町内外から訪れた多くの家族でにぎわいました。来場者は「毎年楽しみにしている。色とりどりのチューリップを見ることが春を感じられる」と話し、会場では生産者や地元有志による焼きそばやフランクフルトの販売、斐川地区本部も地元産青ネギをふんだんに使った「ねぎ焼き」のPRを行いました。満開のチューリップは4月中旬まで楽しむことができ、会場の目印として恒例のこいのぼりと、道路に面して置かれるチューリッププランターが来場者を出迎えます。



満開のチューリップ畑

石見銀山

J A 女性部が清掃活動

J A しまね石見銀山女性部（長久支部・久利支部・大田支部）が、4月2日に大田市長久町の地区本部周辺の美化活動を行い、12人が参加しました。

この活動は、J A しまねの3地区本部（出雲地区本部、斐川地区本部、石見銀山地区本部）の女性部が、それぞれの地域で実施し、今年で4回目です。

当日は早朝の8時より部員が集まり、大田市に流れる三瓶川周辺のゴミ拾いを行い、山崎辰次地区本部長も参加しました。

森脇岸江女性部長は開始の挨拶で「地域がきれいになるようしっかりゴミを拾おう」と話しました。

また、久手支部、富山支部、川合支部も日にちは違うもののそれぞれそれぞれの地域で美化活動を行いました。



ゴミ拾いをする女性部員

隠岐
どうぜん

野だいこん祭りで ニコニコおむすび大作戦！

4月20日、好天に恵まれた土曜日に、知夫村の玄関港・隠岐汽船フェリーターミナル駐車場周辺を会場に、「第28回野だいこん祭り」が盛大に開催されました。“野だいこん”とは、公共放牧地となっている赤ハゲ山の山頂一帯で薄紫色に咲き誇る“ハマダイコン”のことで、知夫の春を告げる祭り・島開きとして村民に定着したものです。

当地区本部は祭りには欠かせない出店コーナーの一角として参加し、定番である「しまね和牛」の販売と「みんなでやろう！ニコニコおむすび大作戦」と銘打った、海士町産の米と知夫村の食材をワンポイントしたおむすびを、参加者自身が握る企画を提供しました。

おむすびの具材は一般的な梅干や鮭等に加え、知夫村の山海漬や冬の代表的な海藻である神葉（ホンダワラ）の佃煮等、伝統的な食材も取り揃え、子供から年配者の方々が「大きいのがいい」「塩が効いたのがいい」などと楽しそうに具材を選び、各自2個ずつ握って食べました。途切れることがないくらい沢山の方の参加を頂き、有意義な春祭りとなりました。



出雲

恒例のラピタビアガーデン 今年もオープン

出雲地区本部は4月12日、恒例の「ラピタビアガーデン」をラピタ本店屋上で開始しました。小さなお子様からご年配の方まで幅広く楽しんでいただける交流の場として毎年開催しています。

初日は会社帰りの方を中心に約210人が来場。オープニングセレモニーでは、J A しまね出雲女性部東部地区「だんごの会」のスコップ三味線や地元バンド「ジージーズ」の演奏、津軽三味線などが会場を盛り上げました。

ビアガーデンは、9月末まで毎日午後5時半から9時まで営業します。今年は5月末まで土・日・祝日を除き、300円プラスで焼肉食べ放題も企画しました。700席（雨天時は300席）を設け、バイキング方式で飲み放題、食べ放題となっています。季節に合わせた料理や楽しんでいただける企画、お得な企画を多数用意し、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



ご予約・お問い合わせは生活部ブライダル課

TEL0853-21-6063まで。

（お問い合わせ時間／9：30～20：00）

西いわみ

J Aしまね西いわみ女性部鎌手支部 総会開催そば打ちも体験

J Aしまね西いわみ女性部鎌手支部（支部長両見宣子）は4月8日、益田市西平原町の鎌手地区振興センターで平成30年度の通常総会を開きました。

平成30年度活動では「ほめられ酢」を使った料理教室や福祉施設へのおやつサービス提供の実施等を報告、平成31年度は「農の生け花」の展示など積極的な活動をしていく事を確認しました。

そば打ち講習では、講師に招いた地元在住の農業細川恒之氏から手打ちそばの作り方を教わりました。

生地のこね方や伸ばし方、力加減などを指導してもらい、打ちたてのそばを昼食として全員でいただきました。



島根
おおち

J Aしまね島根おおち青年連盟 組織活性化および『地上』編集研究会

J Aしまね島根おおち青年連盟は、青年組織の活性化、組織基盤の強化を図る「学習強化運動」をすすめるためのモデル組織に選定されたことを受け、盟友同士の結束を深めるため月刊誌『地上』を使った、組織活性化および『地上』編集研究会を開催しました。

研究会では事前に行っていた、農業、青年連盟活動、地域活性化等についてのアンケート結果が報告されたほか、家の光協会から全国の青年組織活動の事例紹介や『地上』の編集方針、編集企画についての説明がありました。その後、7、8名の班をつくり、今回の研究会のメインであるグループワークを行いました。テーマを「青年連盟活動を継続し発展させていくためには」と設定し、盟友同士が意見交換を行い、テーマを全体的に考え議論を進める班、現在行っている「愛菜カレーの日」の活動を切り口に議論を展開する班と様々でしたが、それぞれに盛り上がりを見せました。

島根おおち青年連盟では、今後も盟友同士の意見交換を行う場を設け、結束を深めるとともに組織の活性化を図っていきたく考えています。



本店

J Aしまね入組式 新たな力に期待

4月1日に松江市の島根J Aビルで入組式を行い、今年度は49人の職員を新たに迎えることができました。

入組式では新入職員を代表して、雲南地区本部の石原宏樹職員が「J Aしまねの職員という誇りをもち、信頼してもらえるよう力を出していきます」と決意表明しました。

同日より新入職員向け研修「J A島根ユースカレッジ新入職員課程」もスタートし、J A職員をはじめとしたJ Aグループ島根の新入職員合わせて62人が、約1年かけてJ Aの基礎知識や社会人としての心構え、J A職員として必要な基本的知識や実務を習得します。

竹下正幸組合長は「この研修会で仲間をつくり、社会人・J A職員として基礎を学び、共に頑張っていく気持ちで突き進んでほしい」と激励しました。

J Aしまねの新米職員にむけて、皆様のご指導とご支援をよろしくお願いたします。



新入職員代表で決意表明をする石原宏樹さん

いわみ
中央

プルタブ回収運動で車いす贈呈 ～小さな積み重ねが地域貢献に～

いわみ中央地区本部（井上宗治地区本部長）とJ Aしまねいわみ中央女性部（徳田マスエ部長）は4月上旬、自走式車いす1台を浜田市社会福祉協議会（大谷克雄会長）に贈呈しました。同事務所を訪問し地区内の介護支援活動に役立てて欲しいと贈ったものです。これは、いわみ中央地区本部と女性部が平成24年度より管内組合員・女性部員にそれぞれ呼びかけているエコ運動の一環で、地区本部管内の各支店・事業所でのプルタブ回収と女性部統一運動の成果として行っています。井上宗治本部長は「捨ててしまえばただのゴミだが集めれば有効な資源として車いすに変え贈ることが出来る。今後もこのような活動を続けて行きたい」と話しました。受取った大谷克雄会長からは「一昨年も贈呈いただき介護支援活動に活用させていただいております。有難うございます」とお礼の言葉をいただきました。



タテのカギ

- ①人に相談すると解消することも
- ④障子やふすまをはめます
- ⑦ガロのヒット曲『——街の喫茶店』
- ⑨改札やホームがあります
- ⑩漢字では「茱萸」や「胡頹子」と書きます。サクランボに似た実がなります
- ⑪舞台上で演じられるもの
- ⑬子守熊ともいわれるオーストラリアの動物
- ⑮太陽の光がよく当たる場所
- ⑯——遣い ——□ ——足
- ⑰夏至は一年で最も——が短い日
- ⑱日本三景の中で一番北にあるのは
- ⑲平熱よりも少し高め
- ⑲人家の軒先に巣を作ることもあります

ヨコのカギ

- ①雨の多い時期に活躍する履き物
- ②ネギやごま、七味唐辛子など
- ③ショッピングモールにはたくさん並んでいます
- ⑤新進——の芸術家
- ⑥吸ったり吐いたりします
- ⑧融通が利かない人
- ⑫父の日に、黄色い——の花を贈る習慣もあります
- ⑬物を非常に細かく砕いた状態
- ⑭未熟なうちに収穫した大豆
- ⑮ランチの後にうとうと
- ⑯歯磨きをして予防します
- ⑰もしものときのために準備しておく物。スペアともいいます
- ⑲トイレットペーパーの芯やちくわのような形のこと

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7	10			17	20
2				15		
3			13			
	8	11			18	
4		12			19	21
5	9			16		
6			14			

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

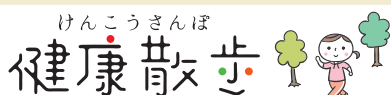
応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2019年6月5日（水）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「シヤクナゲ」

ア	ヤ	メ	ホ	コ	リ
マ	ナ	イ	タ	サ	ヤ
キ	イ	チ	ジ	ク	
ヒ	ア	シ	カ	ゴ	
ナ	イ	シ	ヨ	ユ	
ゲ	タ	ク	ロ	ウ	ト
シ	チ	ミ	カ	ゲ	キ

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



森林浴に出かけましょう!!

JA島根厚生連

風薫る爽やかな5月。新年度を迎え1ヶ月が過ぎ、少々お疲れが出ていませんか？身も心も…。

今回は、その疲れを癒す1つの方法として森林浴に目を向けてみました。

日本は国土の7割程度は森林が占めていて、世界でも有数の森林国です。ここ山陰でも数多くの自然に囲まれており、森林セラピーとして推奨されている地域がたくさんあります。1982年に『森林浴』という言葉として提唱されました。その22年後の2004年には、科学的（医学的）効果が解明された森林浴を『森林セラピー』という言葉で提唱されるようになったということです。

広く一般的に知られている森林浴ですが、あらためて森林浴とは、「森林を散策して樹木の香気を浴び安らぎや爽快感を得る。また、樹木に接し精神的な癒しを求める行為」とあります。なんだかこう読んでみると、堅苦しくて、億劫になってしまいますね？とりあえず、キラキラと輝き、目にまぶしい木々の緑の中に出かけてみましょう。

緑の中に入ると誰でも大きく深呼吸をしてしまいます。条件反射のように大きく山の精気を吸い込む、吸い込みたくなることがまさに森林浴とその効果です。緊張感や疲労感が緩和され穏やかな気持ちになり、血圧や脈拍数が低下するなど、心理的にも身体的にもリラックスした状態になることも確認されています。さらに、2日間の森林浴では、がん細胞を攻撃するナチュラルキラー細胞（NK細胞）が活性化し、抗がん作用効果もあるといわれています。

木の芽どきの体調を崩しやすいこの時期に、新緑の美しい自然の中に身を投げ、思いっきり木々の恵みを吸い込んで、身も心もリフレッシュしましょう！そして、また明日から元気にスタートしましょう。



組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



「JA女性 地域で輝け50万パワー☆」 くにびき女性部総会開催



女性部員の加工品を買い求める部員

などに取り組めます。また、役員改選も行われ、中島部長、藤田弓子副部長が再任。八束支部の曾田洋子支部長が副部長に新任されました。



講演する野々村さん

総会終了後は、記念事業として教育評論家でもある野々村直通さんが「私の強育論」と題して講演。長年の教員生活での体験や高校野球の監督として、チームを甲子園へ導いた経験をもとに「現状に感謝の気持ちを持つことで、人はより成長できる」と熱弁しました。



あいさつをする
中島和子部長

JAしまねくにびき女性部（中島和子部長、758名）は4月10日、第24回通常総会を営農総合センターで開催し、今年度の活動計画や役員改選など全ての議案を承認しました。

総会には女性部員やJA役員など約100人が出席。冒頭、中島部長が「教育文化センターSan・san館で、食と農を基軸とした活動を中心に取り組んだ結果、3年連続で部員数が増えている。今年度も、活動を通じて地域へ貢献していきましよう」と挨拶。続いて、栗原令本部長は「持続可能な組織運営を目指し、*SDGs（エスディージーズ）について理解を深めながらよりよい女性部を目指し、力を合わせてほしい」と述べました。

今年度はJA女性組織3カ年計画の初年度。「JA女性 地域で輝け50万パワー☆」を活動スローガンに掲げ、女性部支部の全支店設置と教育文化センターSan・san館での、食と農・地産地消運動の促進



女性部の新役員

会場では、ムスイ鍋やエコープ酢が販売されたほか、女性部員手作りの菓子や加工食品などの売場も設けられました。部員は、目当ての商品を買い求め、互いの近況などについて語り合いつつ、交流を深めていきました。

【新役員（敬称略）】
 部長 中島 和子（鹿島・再任）
 副部長 藤田 弓子（八雲・再任）
 曾田 洋子（八束・新任）

*SDGsとは、2015年国連で採択された持続可能な社会をつくるための17の目標です。社会の問題を解決し、よりよい未来を迎えるために、2030年に向けて世界が合意しました。そこには、世界のみなが力を合わせて、地球上のさまざまないのちのつながりや、その恵みを大切にして、誰もが豊かさを感じられる平和な世界をつくらうという、ビジョンが掲げられています。

くにびきサンサン女子大学 神々の国しまねの パワースポットを巡る！



くにびきサンサン女子大学6期生は4月20日、「神々の国しまねパワースポットめぐり」講座を開催し、松江・出雲市内のパワースポットを巡りました。

この講座は、出雲神話にちなんだ神社・仏閣のパワースポットをキーワードに、現地を訪れることで「島根の魅力」を再発見してもらおうと企画したものです。

当日は、学生やJA職員、関係者など28名が参加。バスに乗車し、出雲大社や八重垣神社のほか、神在月に出雲に参集した八百万の神が最後に立ち寄る万九千神社など5箇所のパワースポットを訪ね、神秘的な雰囲気にとりまわりました。冒頭、講師の安部登さん（松江ツーリズム研究会）は「平成を平和に終えられた感謝をお参りで伝えてほしい」と挨拶。その後、学生たちは、安部さんからそれぞれのパワースポットの歴史や背景について、わかりやすく説明を受けました。

学生たちは「天気にも恵まれ、新緑を見ながらのパワースポットを巡り、リフレッシュできた」「地元でありながら知らなかった参拝の仕方や神社の由来などたくさん知ることができた。県外の知人を案内したい」と島根の魅力が再発見していました。



農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

基礎から学び、卒業後には市内の産直を引張っていく存在になってほしい」と挨拶。続いて、塾生は自己紹介と、それぞれの農業に対する思いや今後の目標を発表しました。

その後、第1回目の講義として「土づくりと連作障害対策」について講義を受けた後、圃場に移動し「サトイモ・シヨウウガの芽だし作業」を行いました。

原万由美さん（古志原）は「2年前に塾を卒業した夫と農業をしている。塾でしっかりと学び、二人三脚でがんばりたい」と目標を語りました。



作業について説明を受ける受講生

くにびき地区本部は4月4日、中海干拓研修センターで「さんちよく営農塾」の開講式を行いました。

同塾は今回で4期目となり、農業に関心があり、将来良品質の農産物を生産し「JA産直コーナー」への出荷を目指す人を対象に募集。基礎知識と圃場実習、模擬出荷体験などの内容で、1年間かけ研修します。

当日は、塾生14名のうち11名が出席。冒頭、塾長の中村隆宮農経済部長が「産直の需要は増加している。1年間、農業の基

地産地消で地域を活性化！
「さんちよく営農塾」開講

14名が学ぶ



中村塾長（下段中央）と受講生

農業経営の安定向上を目指す！

松江市農業受託者協議会

定期総会開催



挨拶する吉岡会長

松江市農業受託者協議会（吉岡雅裕会長・会員総数61名）は4月19日、松江宍道湖温泉すいてんかくで「第5回定期総会」を開催しました。

同協議会は、管内の農業及び農作業の受委託を円滑に推進するとともに、農用地の有効利用、担い手の育成確保をすすめ、農業経営の安定向上と農業振興を目的に活動しています。

冒頭、吉岡会長が「次年度はくにびき稲作協議会との合併を視野に地域農業振興と品質向上を促進していきたい」と挨拶しました。

その後、宮廻彰夫副会長を議長に選任し、2018年度の事業報告及び収支決算報告や2019年度事業計画及び収支予算案、くにびき稲作協議会との合併についてなど上程した全議案が承認されました。また、役員改選も行われ、会長、副会長が再任となりました。

- 会長 吉岡 雅裕（再）
 - 副会長 宮廻 彰夫（再）
 - 三島 正（再）
- （敬称略）



総会の様子

くにびき新茶
お徳用
(500g)
2,000円(税込)

くにびき新茶
やぶきた
(150g)
キャンペーン特別
1,000円(税込)

JAの製茶工場で作られたおいしいお茶です。

くにびき新茶 キャンペーン

【受付期間】5/7～5/24

JAの製茶工場で作られたおいしいお茶をよばれてごしない!

松江管内で生産した茶葉をJA鹿島製茶工場加工。今年も無添加で安全・安心なお茶が出来上がりました。どうぞ、できたての新茶をご賞味ください。

お問い合わせ

くにびき地区本部
営農経済部 営農指導課
TEL 0852-55-3033



※パッケージデザインは実際とは多少異なる場合がございます。

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



学校給食に紅ほっぺが登場！ 青年連盟が地産地消推進

JAしまねくにびき青年連盟（野津喜洋委員長）の作ったイチゴ「紅ほっぺ」が4月18日、島根大学教育学部附属義務教育学校前期過程の給食に登場。栽培した野津委員長も招かれ、3年生59人と一緒に給食の時間を楽しみました。

同連盟は「地産地消の教育を進めたい」という同校からの要望を受け、盟友が生産したタマネギやジャガイモ、青ネギなどを旬の時期に学校給食の食材として納めています。

当日は、野津委員長が児童の前で、イチゴの収穫方法や栽培における苦労話、おいしいイチゴの食べ方などを説明。児童たちからの「いちごのおいしい食べ方は」という質問に、野津委員長は「ヘタのほうから食べると甘く感じられるよ」と丁寧に答えました。その後、給食が始まると、児童たちは、大きくて真っ赤なイチゴを口いっぱいにはおぼり、そのおいしさに笑顔を見せていました。



イチゴを手に笑顔の児童



イチゴの授業風景

石田蒼さん（8）は「甘くておいしかったし、大きくて食べごたえがあった」と笑顔で舌鼓を打っていました。最後に野津委員長は「農家の人が大事に育てたものは、残さず食べてね」と呼び掛けました。

地元の食材をふんだんに使用！ サン・エールたまゆで ほうとう鍋振る舞う



食材を寄贈した松浦さん（左）と石川さん（右）

くにびき地区本部は4月3日、福祉施設「サン・エールたまゆで」で、施設利用者に地元の旬な味を楽しんでもらおうと近隣の農家組合員から寄贈された食材を使用したほうとう鍋を振る舞いました。

この日振る舞われたほうとう鍋には、忌部町の松浦久義地区本部運営委員のお米（きぬむすめ）で作ったほうとうや、玉湯町の上大谷農産加工場（石川咲子代表）で加工した味噌の他、地元産の野菜がふんだんに使用されました。利用者は「優しい味の味噌でおいしかった」「ほうとうは食べ応えがあった」と笑顔で舌鼓を打ちました。福祉課の職員は「今後も地元の旬な食材を使用し、利用者の健康を食でもサポートしたい」と話しました。



振る舞われたほうとう鍋



舌鼓を打つ利用者

ECOスタイル運動実施中！

運動期間 令和元年5/1(水)～10/31(木)

JALしまねくにびき地区本部では、環境を守る活動の一環として、「ECOスタイル運動」に取り組んでいます。みなさまのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

「ECOスタイル運動」とは、ノーネクタイ・軽装をすすめ、エアコンの設定温度を上げることで電力消費量を抑え、二酸化炭素排出および電力資源使用量削減をはかる省エネ活動です。



事務所内掲示用ポスター



事務職

営農指導員

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



切り干し大根の煮物

大根を天日干しして作られた切り干し大根。乾燥させることで大根の栄養や旨みが増し、独特の香りと歯ごたえが生まれます。今回は島根町大苜産の切り干し大根を使用してシンプルな煮物を紹介します。優しい味なので朝食にも、あと一品欲しい時にもおすすめです。

【材 料】(4人分)

切り干し大根(乾燥) ……60g 水 ……800ml
ニンジン ……100g インゲン ……5本
さつま揚げ ……1枚

A
薄口醤油 ……大さじ4
砂糖 ……大さじ3
みりん ……大さじ2
顆粒和風だしの素 ……小さじ2

サラダ油 ……大さじ1

【作り方】

- ①ボウルに切り干し大根、水を入れて20分程度もどす。水から上げ、切り干し大根ともどした汁を分ける。
- ②ニンジンは千切り、さつま揚げは短冊切りにする。インゲンは10分程度塩茹でしてから、細切りにする。
- ③鍋にサラダ油を入れ、①の切り干し大根を加えて、中火で2分程炒める。ニンジン・さつま揚げを加えて軽く炒める。
- ④①の戻し汁を加えて、Aを加える。落とし蓋をして強火にする。沸騰したら中火にして15分程度煮る。
- ⑤器に盛り付けて、インゲンを添えて完成。



今月の料理人

島根支部
石橋真理子 さん (左)
団野 紀江 さん (右)



切り干し大根のような乾物を煮るとき、戻した後しっかり炒めてから煮ると、乾物特有の臭いを和らげることが出来ます。インゲンを添えると彩り良く仕上がりますよ。

参加者募集!

サン●サン料理教室

日時

2019年6月25日(火) 10:00~13:00

※定刻になり次第開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。

場所

くにびき地区本部
San・san館

松江市西川津町1635-2

旬の野菜を食べて夏バテを乗り切りましょう!
女性部が講師となり、コツを教えます。
組合員、利用者、松江市民を対象に
参加者を募集します。(男性大歓迎!)



6月のメニュー 夏野菜食べつくしレシピ

★夏野菜と豚肉のからし酢味噌和え ★ちょこっとそうめん
★さざえご飯 ★いちごゼリー

(メニューは都合により変更させていただくことがあります)

募集人数 30名程度

組合員、利用者、松江市民の方を対象に募集します。(男女を問いません)

参加費 1,000円(当日現金にて申し受けます)

準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 2019年6月14日(金)

お申込み/お問い合わせは

①住所②氏名③電話番号をご記入の上、ハガキまたはFAX、Eメールでお申込みください。

〒690-0823 松江市西川津町1635-1

くにびき地区本部企画総務部ふれあい課・サンサン料理教室係

TEL: (0852) 55-3018 FAX: (0852) 32-6870

E-mail: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

貯金、年金、ローンのご相談はわたしたちに

くにびき地区本部 身近な信用渉外スマイル



私たちFA（ファイナンシャルアドバイザー）は、貯金はもちろん、ローンなどさまざまな商品をとおり、地域の皆様のくらしを支えるパートナーとして、ご相談、アドバイスさせていただきます。

古江支店		推進支援課長			
 LA 共済普及係長 田中 洋子	 LA 共済普及係 岩成 周平	 津田・東出雲・八雲地区 推進支援課長 青砥 伸吾	 川津・島根・八束・美保関地区 推進支援課長 長谷川 幹	 古江・法吉・鹿島地区 推進支援課長 勝部 秀一	 乃木・宍道・玉湯地区 推進支援課長 小村 晃史
川津支店					
 LA 共済普及係 加藤 泉樹	 LA 共済普及係 奥原 裕之	 LA 共済普及係 石原 隆弘	 LA 共済普及係 吉山 由美	 LA 共済普及係 森岡 梓	 LA 共済普及係 佐伯 崇人
 FA 信用渉外係長 梶野 綾子	 FA 信用渉外係 田邊 真輝	 LA 共済普及係 永島 健汰	 LA 共済普及係 安部 敬祐	 FA 信用渉外係支店長補佐 長廻真代美	 FA 信用渉外係 菊地 雅也
八束支店			島根支店		
 LA 共済普及係 吉岡 亘	 LA 共済普及係 來海 歩	 FA 信用渉外係長 福島 洋介	 LA 共済普及係 西村 由理	 LA 共済普及係 梅木 竜	 FA 信用渉外係 福井 建志
八雲支店			美保関支店		
 LA 共済普及係長 堀江 寿美	 LA 共済普及係 石原 敬之	 FA 信用渉外係長 山崎 文雄	 LA 共済普及係 米村 優人	 LA 共済普及係 小豆澤 恒	 FA 信用渉外係支店長補佐 梶谷 朋之























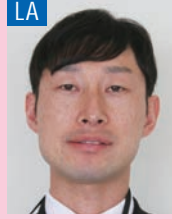









2019 JA共済くびき地区本部ライフアドバイザー

「感謝」の気持ちを込めて

地域の絆をつなぐしあわせネットワーク

あなたの地域のライフアドバイザーが伺います。



鹿島支店		乃木支店		法吉支店	
 LA 共済普及係 土江 修平	 LA 共済普及係 持田ひかり	 LA 共済普及係 山本 亮介	 LA 共済普及係 坪倉 直紀	 LA 共済普及係長 笹山 彩子	 LA 共済普及係 榎 圭佑
 LA 共済普及係 伊藤 茜	 FA 信用渉外係長 川谷 浩美	 LA 共済普及係 寺本 篤史	 FA 信用渉外係 藤原 真優	 LA 共済普及係 青木 倫子	 FA 信用渉外係 隠岐 史也
津田支店					
 LA 共済普及係 小畑 直也	 LA 共済普及係 安部 美佐	 LA 共済普及係 榎野 亘	 LA 共済普及係 根本 歩美	 FA 信用渉外係支店長補佐 松尾 温子	 FA 信用渉外係長 荒川 智子
東出雲支店		玉湯支店		宍道支店	
 LA 共済普及係支店長補佐 門脇 誠	 LA 共済普及係 吉野 絵里	 LA 共済普及係 岩本 祐介	 LA 共済普及係 金築 萌子	 LA 共済普及係 三島 利香	 LA 共済普及係 野津 武司
 LA 共済普及係 渡辺 美子	 LA 共済普及係 山口 諒	 FA 信用渉外係 伊東友里恵	 FA 信用渉外係 奥村明日香	 LA 共済普及係 真野 大洋	 FA 信用渉外係 園山 由香

くびき地区本部情報

くにびき地区本部 新入職員紹介

☆JAしまねくにびき地区本部の新しい顔！新入職員をよろしくをお願いします。

- ①出身地区
- ②趣味・特技
- ③好きな言葉
- ④自己PR

(平成31年4月1日付)

米穀畜産課 米穀畜産係



多々納 朋佳

- ①比津が丘
- ②ドライブ
- ③感謝
- ④何事にも一生懸命がんばります。

米穀畜産課 米穀畜産係



福田 海晴

- ①宍道町
- ②ライブに行くこと
- ③何とかなる
- ④毎日朝から笑顔で働けるようがんばります。

営農指導課 営農指導係



伊藤 彩

- ①西川津町
- ②バレーボール、動画鑑賞
- ③なんとながる
- ④大学でよさこいを通して地域の方とふれあってきました。これからよろしくをお願いします。

金融課 金融業務係



松本 夏美

- ①古志原
- ②バスケットボール
- ③食
- ④好きなことは動物園、水族館に行くことです。ひとつひとつ一生懸命仕事に取り組みます。

川津支店 業務係



村上 凌

- ①浜乃木
- ②サッカー観戦、簡単な料理を作ること
- ③向上心
- ④継続し、協調性を持って何事にも取り組みますのでよろしくをお願いします。

古江支店 業務係



高橋 りこ

- ①学園
- ②映画鑑賞
- ③人事を尽くして天命を待つ
- ④毎日笑顔で明るく元気ががんばります。

津田支店 業務係



飯塚 貴之

- ①山代町
- ②キャンプ、サイクリング、サッカー
- ③平常心
- ④サッカーで培ったコミュニケーション能力と協調性を活かしてがんばります。

鹿島支店 業務係



佐々木 修世

- ①八束町
- ②アウトドア、旅行
- ③何かあっても死ぬこと意外かすり傷
- ④話すことが大好きなのでたくさん話して信頼関係を築いていきたいです。

東出雲支店 業務係



山下 雄剛

- ①東出雲町
- ②サッカー
- ③ゆっくりでも止まらなければけっこう進む
- ④何事にも果敢に挑戦していく「チャレンジャー精神」を持ってがんばりますのでよろしくをお願いします。

八雲支店 業務係



小笹 那々子

- ①雑賀町
- ②犬の世話、歌をうたうこと
- ③ありがとう
- ④松江農林高校出身なので農業について話すことが楽しみです。

宍道支店 業務係



前川 七海

- ①隠岐の島町
- ②Perfumeを聴くこと
- ③継続は力なり
- ④新人らしく明るく元気ががんばります。

玉湯支店 業務係



伊藤 大輝

- ①玉湯町
- ②サッカー
- ③感謝
- ④常に全力でがんばります。

わたしにもできる「おもてなし」

松江城・街 美化ウォーク

国宝松江城周辺の公民館とJR松江駅を出発地点として、松江城馬溜を目指してウォーキング清掃活動を行います。馬溜到着後は、楽しいイベントで交流を深めます。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。



〈日時〉
令和元年 **6月8日(土)**
7:30~9:30

〈参加対象〉 **小雨決行・荒天中止**

市民のみなさま (小中学生、幼児含む)
※お問い合わせ・お申し込みは**5月24日**までに、各公民館、ボランティアセンターへ
TEL: 0852-27-8388

【集合場所】

- ①城東・城西・城北・朝日・雑賀・白湯・法吉の各公民館
※各公民館の指定する場所からの出発もあります。
- ②JR松江駅北口観光案内所前
7時20分までに、各集合場所へ集合
7時30分 出発⇒各ルートで清掃活動
・市民憲章唱和・ラジオ体操、コーラス、お楽しみ抽選会 ・終了後解散

JA共済は、感謝の気持ちをお伝えするとともに皆さまのお役に立ちたいと考え3Q訪問活動を実施しています。

3Q訪問活動 **1** **皆さまにおかわりがないか確認します!**

ご家族の皆さまにおかわりがないか確認させていただきます。
(ご契約に関係することを中心に確認させていただきます)

3Q訪問活動 **2** **ご契約内容を一緒に確認します!**

「どういときに共済金が支払われるのか」、「今の保障で備えは充分か」。ご契約内容を一緒に確認させていただきます。

3Q訪問活動 **3** **請求漏れがないか確認します。**

「万一のときにお役に立てなかった」、ではいけません。過去の入院や手術、建物の被害等がなかったかを確認させていただきます。

請求漏れ実績について
平成30年度の3Q訪問活動で下記の請求漏れを確認し、お支払いしています。(JA共済連島根調べ・平成31年2月時点)

生命系共済 120件 **建物更生共済 102件**

なぜ請求漏れがおこるのか?
共済の契約内容は共済証書でご確認できますが、ご自身で共済の加入内容を全て把握されている方は多くいらっしゃいません。そのため、「どんな場合に請求できるのか?」わからない場合があるのです。

地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体の皆さまへ 「功績表彰」「活動支援」希望グループ・団体

募集中!



JALまねでは「地域貢献・地域活性化事業支援金」を創設し、地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等の多様な取り組みを表彰・支援し、「地域力」の向上に努めています。下記内容をご確認の上、ご活用していただきますようご案内します。

【支援内容】

I. 地域活性化に取り組む

グループ・団体活動表彰

- ◆**表彰主旨** 地域活性化に係る各種活動、環境保全活動等を行うグループ・団体等を表彰して功績を称えます。
- ◆**支援額** 1団体上限20万円
- ◆**募集数** 2団体

II. 地域活性化活動支援

- ◆**支援主旨** 地域活性化に資する活動を普及・維持・拡大または開始するための資金支援を行います。
- ◆**支援額** 活性化等に係る活動費用(飲食を除く)の2分の1。但し1団体上限10万円。※国・地方公共団体の補助事業等を受けた活動(事業)を除く。
- ◆**事業予算** 59万円(※当該予算額内での支援)

【支援対象者】

JALまねくにびき地区本部の組合員・松江市民が構成員であるグループ・団体・非営利法人(農事組合法人、特定非営利活動法人に限る)。

ただし、以下は除きます。

- 〈支援内容 I・II共通〉自治会や過去に当該の表彰を受賞または活動経費の支援を受けた団体等
- 〈支援内容 Iのみ〉活動歴が5年未満
- 〈支援内容 IIのみ〉氏子会、護寺会それらに類する保存会・団体等

【申込手順】

- ①希望する支援の申請書をJALまねのホームページまたは各支店の窓口にて入手ください。
- ②必要箇所をご記入し、代表者が捺印ください。
- ③お近くのJALまねくにびき地区本部各支店窓口または企画総務部ふれあい課へ持参・郵送にて応募ください。

【支援対象期間】

- I. については限定しませんが、継続的に取り組んでいることを条件とします。
- II. は、2019年3月～2020年2月までに実施の活動を支援します。

【注意事項】

- ①申請書を受領後、厳正な審査を行い支援可能か判断します。
- ②審査終了後、審査結果を通知いたします。

【応募締切】2019年7月31日(水) 必着

お問い合わせは

くにびき地区本部
企画総務部ふれあい課
〒690-0823 松江市西川津町1635-1
TEL:0852-55-3018

盆提灯・盆礼ギフト 展示会のご案内



※写真はイメージです。

盆提灯をはじめとするギフトなどの展示会を下記の2会場で開催します。ご来場いただき、この機会にお買い求めください。

橋北
会場

とき 6月15日(土)・16日(日)・17日(月) AM9:00～PM5:30
[17日はPM4:30まで]

ところ JALまねくにびき地区本部
教育文化センターSan・San館

橋南
会場

とき 6月22日(土)・23日(日)・24日(月) AM9:30～PM5:30
[24日はPM4:30まで]

ところ Aコープたまゆ 2階会議室

展示会期間中以外でも、ご相談を承ります。お問い合わせは

くにびき葬祭センター
TEL:0852-36-4570

今月の特選車

スバル サンバートラック TC



(年式)平成24年式

(走行)55,900km

(車体色)白 5MT 4WD

(車検)受渡し

(装備)AC PS PW CDチューナー

(車両本体価格)

720,000円(税込)

(諸費用別途)

※すでに売却済みの場合はご容赦下さい。

お問い合わせ先は

自動車センター TEL:55-3077

6月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
6	木	税務相談会	川津支店 (TEL:23-2424) 10:00～12:00
7	金	税務相談会	古江支店 (TEL:36-8157) 10:00～12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いします。予約先:開催会場となる支店・店

○くにびき地区本部金融共済部ローン営業センターでは、土曜日(10:00～15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※6月の土曜営業日は8日・22日・29日です。

◆お問い合わせは

☎0120-988-380

6月 ふれあい訪問日

6月12日(水)・13日(木)

取れたてが甘くておいしい スイートコーン

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

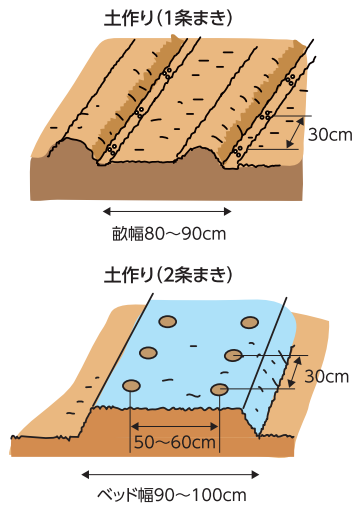
園芸研究家 ● 成松次郎

スイートコーンは温暖で強い日光を好む強健な野菜です。雄花が雌花より先に咲き受粉のタイミングがずれやすいため、集団で育てることが実入りを充実させるポイントです。

【品種】「みわくのコーンゴールドラッシュ」(サカタのタネ)、「おひさまコーン」(タキイ種苗)やバイカラーと呼ばれ黄色と白色が混じっている「ゆめのコーン」(サカタのタネ)などがあります。

【栽培時期】 遅霜の心配のない4月下旬～5月中旬が種まき期で、寒冷地では5月中旬～6月中旬です。

【土作り】 畑1平方m当たり苦土石灰100gをあらかじめ散布しておきます。次に、畝幅80～90cmを取り、深さ20cm程度の溝を切ります。この溝1m当たり化成肥料(N-P-K=10-10-10%)150gと堆肥1kgを施し、土とよく混ぜておきます。2条まきでは、幅90～100cmのベッドを作り、1平方m当たり化成肥料200gと堆肥2kgとを全面に施し、土とよく混ぜておきます。そして、ベッドを平らにならした後、早まきではポリマルチをします(図 土作り)。



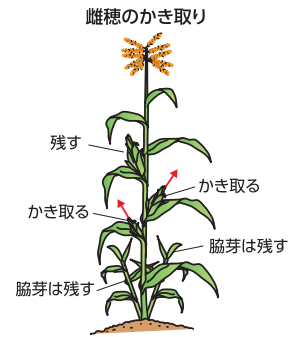
【種まき】 株間30cm程度1カ所3～4粒の点まきします。ハトに食べられないように、寒冷しゃや不織布のべた掛けをしましょう。なお、1～2株の栽培や1列だけでは、花粉が不足しやすいので10株以上、または2列以上の集団で栽培してください。

【管理】 草丈10～15cmで間引く苗を切り取り、1本

立てにします。追肥は草丈50～60cmの頃、畝1m当たり化成肥料50gを列の片側に与え(ベッドでは1平方m当たり100gをベッドの両側)、株元へ土寄せします(図 追肥・土寄せ)。そして、上の雌穂を残し、下に付く穂を全て除き、1本1穂にすれば大きい穂になります。なお、脇芽は特に取り除く必要はありません(図 雌穂のかき取り)。



【病害虫防除】 雄花がつき始めたころにアワノメイガが葉裏に産卵し、大きくなった幼虫は雄穂や雌穂(子実)に食入します。茎や子実に入り込んだ幼虫を防除するのは困難なので、雄穂が伸びだす頃に殺虫剤を散布します。



【収穫】 絹糸が出てから3週間ほどたち、絹糸が褐変して先端の子実が乳白色に着色した頃です。早朝に収穫し、収穫後は急速に甘味が減少するため、早めに冷蔵庫に入れましょう。もちろん、すぐにゆで上げて食べるのが一番です。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

成松次郎 (なりまつじろう)

神奈川県農業技術センター等で野菜の研究と技術指導に従事後、(一社)日本施設園芸協会で施設園芸及び加工・業務用野菜の生産・流通振興に携わる。現在、園芸研究家。

理事会情報 (3月28日開催)

協議事項

- ①平成31年度県域品目販売手数料について
- ②「平成32年度島根県農業政策および予算に関する要望」の進め方について
- ③平成31年度補助事業(国庫及び県単補助事業)の実施について
- ④平成29年産飼料用米の最終精算について
- ⑤平成30年産備蓄米の最終精算について
- ⑥日本銀行歳入復代理店の申請について
- ⑦平成31年度余裕金運用にかかる年次運用方針について
- ⑧平成31年度第1四半期の余裕金運用計画額および運用方針について
- ⑨マネロンおよび反社会的勢力等への対応に関する

規程類の一部改正・設定および特定事業者作成書面(リスク評価書)の改正について

- ⑩一般貸倒引当金の取り扱いについて
- ⑪平成31年度コンプライアンス・プログラムについて
- ⑫平成31年度個人情報保護計画について
- ⑬平成31年度における各種限度額について
- ⑭貸出金遅延損害金の減免について
- ⑮組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑯平成31年度事業収支計画について
- ⑰次期中期経営計画「収支計画」について
- ⑱特別損失(臨時損失)の計上と任意積立金の取り崩しについて
- ⑲「経理規程」の一部改正について
- ⑳「職制規程」の一部改正について

- ㉑平成31年(2019年)9月14日付け為替店舗統廃合の実施について
- ㉒出資口数の減少(減口)の承認について
- ㉓行方不明組合員等の脱退手続きに係る組合員資格の確認について
- ㉔地域・農業活性化積立金を活用したJA共済連助成金制度の平成31年度活用方針について
- ㉕平成31年度JAしまね「日本農業新聞」普及方針について
- ㉖平成31年度JAしまね「家の光三誌」普及方針について
- ㉗雲南地区本部「雲南すずらん福祉センター居宅介護支援事業所」および住宅型有料老人ホームの廃止について
- ㉘職員就業規則等の一部改正について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

元気な島根を 応援します!

2019年度 地域貢献・地域活性化支援事業

JAしまねでは地域における歴史・自然・文化等を活かした「地域力」発揮による「元気な地域づくり」を応援しています。

【対象団体】

① 地域活性化に取り組むグループ・団体表彰

地域住民やJAの組合員が構成員であるグループ・団体・非営利法人（農事組合法人、特定非営利活動法人に限る）で、活動歴が5年以上あること。ただし、次の場合を除く。
①自治会、②過去に当該事業の表彰を受賞または活動費用の支援を受けたグループ・団体・非営利法人。

② 地域活性化活動支援

地域住民やJAの組合員が構成員であるグループ・団体・非営利法人（農事組合法人、特定非営利活動法人に限る）。ただし、次の場合を除く。①自治会、②氏子会、護国会、③過去に当該事業の表彰を受賞または活動費用の支援を受けたグループ・団体・非営利法人。

※なお、表彰や活動支援は、当該事業全体を通して、1団体1支援とします。

【募集期間】2019年5月13日(月)～7月31日(水)

【応募方法】お住まいの地区本部へ応募してください。

事業の詳細は、地区本部の地域貢献活動またはふれあい活動担当部署にお問合わせいただくか、JAしまねのホームページ <http://ja-shimane.jp/> でご確認ください。

【事業内容】

① 地域活性化に取り組むグループ・団体表彰

地域への貢献や活性化に取り組むグループ・団体を表彰します。（副賞20万円）

② 地域活性化活動支援

地域への貢献や活性化に資する活動を維持・拡大または開始するための資金を支援します。（活動費用（飲食を除く）の2分の1。上限10万円）

支援総額

700万円

JA し ま ね

検索



胸部CT検診を受けてみませんか。

～早期の肺がんを見つけるには胸部CT検診が有効です!～

〈肺がんは部位別がん死亡者数第1位です!〉

	1位	2位	3位	4位	5位
♂男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
♀女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

国立がん研究センター「がん登録・統計2017」

〈肺がんの進行度別5年生存率※〉

(進行度)	早期	→	進行	
ステージ	I	II	III	IV
生存率	81.3%	47.9%	21.7%	4.8%

国立がん研究センター「がん登録・統計2017」

※5年生存率とは…がんと診断されてから、5年経過後に生存している割合

肺がんはがんによる死亡原因の第1位で、死亡者数は年々増加しています。肺がんは小さく転移がない早期の状態で見つければ、手術で完治する可能性が高まります。ただ、早期の段階では自覚症状があまり出ず気づきにくいので、検診で早く見つけることが重要です。胸部CT検診は肺がん発見率が胸部X線検査の約10倍で、早期の段階で見つかる可能性が高い検査です。

早期発見・早期治療のために「胸部CT検診」をお勧めします!

日程等はJA窓口にお問い合わせください。



J A 島根厚生連

全組合員調査のお願い

組合員の皆さまのご意見をお伺いする取り組み

JAは現在、全ての組合員の皆さまを対象とした全組合員調査を実施しています。調査では、現在JAが取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いします。組合員の皆さまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方などの検討に向けても重要となります。つきましては、全組合員調査への組合員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

あすっこ入り海鮮塩焼きそば



●材料 (1人分)

中華麺……………	1玉	水……………	50cc
あすっこ……………	1/2束	ガラスープの素……………	小さじ1
シーフードミックス……………	100g	塩……………	小さじ1/4
もやし……………	1/2袋	こしょう……………	少々
		サラダ油……………	適量

●作り方

- ①あすっこの葉は4～5cm、茎は2cmぐらいに切る。
- ②もやしは洗い水気を切る。
- ③中華めんのだしに穴をあけ、電子レンジ(600W)で1分加熱する。
- ④フライパンにサラダ油を熱しシーフードミックス、もやし、あすっこを炒め、中華めん、水、ガラスープの素、塩、こしょうを入れ味をととのえる。



中華めんをあらかじめ電子レンジで温められない場合は水の分量を増やしてください。あっさりさっぱり!でも、あとを引く味「海鮮塩焼きそば」塩焼きそばは、魚介とよく合います。

そらまめサラダ



●材料 (2人分)

そら豆……………	150g	酢……………	大さじ1
ミニトマト……………	6～8個	塩……………	小さじ1/2
新玉ねぎ……………	1/2個	オリーブ油……………	大さじ3
		黒コショウ……………	少々

●作り方

- ①そら豆はサヤから出して、黒いつめと逆さに包丁を少し入れる。沸騰した湯に塩を入れ2～3分ゆで、ザルに上げ冷やし(水はかけない)皮をむく。
- ②ミニトマトは半分に切る。新玉ねぎは繊維と直角に薄く切り水に軽くさらしてから水気を絞る。
- ③調味料をボウルに入れ泡立て器で混ぜ乳化させドレッシングを作り、水気を切ったそら豆、ミニトマト、新玉ねぎを入れ混ぜる。



甘くてほくほくしたそら豆をあっさり味のドレッシングで和えています。さわやかな初夏に合う料理です。そら豆は鮮度が命!サヤから出したら味も栄養価も低下するので、サヤから出したらすく調理しましょう。ゆで方は、皮に少し切れ目を入れて塩ゆですると、冷めても皮にしわがよらず、きれいにゆで上がります。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直道 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は隠岐の島町にある玉若酢命神社の「馬入れ神事」です。島後三大祭りの一つ「御霊会風流」のハイライトである馬入れ神事では、8地区から集まった神馬が、鳥居の前から拝殿を目指して狭い参道を一気に駆け上がります。昭和40年5月に県の無形文化財に指定されました。

編集後記

気温も暖かくなり、今年も家庭菜園に何を植えようか悩む季節がやってきました。我が家の定番はミニトマトですが、一口にトマトと言っても様々な品種がありますし、育てたことのない野菜に挑戦したい気持ちも湧いてきます。素敵な出会いを求めて、産直へ出かけます!(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

